


新刊書紹介

一般書

推し、燃ゆ

宇佐見りん／著 河出書房新社

ままならない人生を引きずり、祈るようにアイドル上野真幸を推すあかり。ある日、真幸がファンを殴って炎上し...




児童書

がろあむし

館野鴻 作／絵 偕成社

くずれた崖の奥底で、がろあむしの赤ちゃんが生まれた。がろあむしはまっくらな世界を駆けまわり、やがてやがておおきくなるとオスと出会い、たまごを産む。そして...。地下の暗黒世界に広がる宇宙と小さな虫の大きな一生を濃密に描く。




みなよむ
☎53-3746

開館時間 午前10時～午後6時
(日曜日は午前9時～午後5時)

1月のもよおし

- 定例おはなし会
10日回 午前10時30分～
- 日本文学賞展
- 南関子ども会連合会陶芸展
9日回 ～ 30日回

1月のお休み

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

■休館日

クリスマスおはなし会

12月13日回に図書館で、おはなしの会あすなろによる「クリスマスおはなし会」を開催しました。クリスマスや冬をテーマにした絵本や紙芝居などを楽しみました。



借りた本は期限内に返しましょう!

あとぞき

あけましておめでとうございます▼2021年は丑(うし)年ですね▼牛のようにゆっくりでも、一步一步確実に前へ進み、変化のある1年にしていきたいと思えます▼広報づくりでも、何かに取り組んでいる皆さんを、モー烈に追いかけていきたいと思えます▼本年も「広報なんかん」をよろしくお願ひします(さ)

休日在宅医

期日	医療機関名	電話番号
1月 1日(金)	森の里クリニック	0968-34-2800
2日(土)	和水クリニック	86-6001
3日(日)	※右記の玉名都市医師会電話番号でご確認ください	73-6000
10日(日)	和水町立病院	86-3105
11日(月)	田辺クリニック	53-8211
17日(日)	田尻医院	53-0016
24日(日)	さかき診療所	53-1125
31日(日)	森の里クリニック	0968-34-2800

○診療時間は午前9時から午後5時です。
○医院の都合などで変更もあります。変更は防災行政無線でお知らせします。
○3日(日)は、自動音声で医療機関をご案内します。

旧石井家住宅主屋

先日、南関町の情報発信に関する取材・撮影で登録有形文化財(建造物)に指定されている「旧石井家住宅主屋」を観に行ってきました。

江戸時代後期のもので、明治19年などこれまでに3度の改修がされています。詩人である北原白秋が生まれた家としても有名で、江戸後期の住宅の構造が見て取れる点などが評価されています。

歴史的にも重要な場所を確認することができ、貴重な経験ができました。今後も町の歴史や特徴などの取材・撮影を行なっていきたいと思います。



▲旧石井家住宅主屋 外観

地域おこし協力隊
事務所 関町1316
(役場まちづくり課内)
携帯番号 平野(080)27521756
岩下(090)57454626

中学生の「税についての作文」表彰式

税を考える週間実行委員会(会長・蔵原隆浩玉名市長)は、令和2年度中学生の「税についての作文」表彰式を11月15日(日)に玉名市の玉名市民会館大ホールで開催しました。



▲小森田直夏さん

玉名税務署管内の中学生から801点の応募があり、26人の表彰者のうち、小森田直夏さん(関町)が南関町長賞を受賞しました。平成5年から始まったこの表彰は今年で28年目を迎え、毎年11月11日からの「税を考える週間」に合わせ表彰式を開催。将来を担う中学生に国や地方を支えている税金の重要性を理解・認識してもらうために実施しています。

★南関町長賞

「身のまわりにある税金」

玉名高等学校附属中学校
一年 小森田 直夏

私は、税金はどんなところに使われているかについて考えてみた。私が考えた中には、道路など、身のまわりにあることが多かった。なんととても重要なものが私たち小中学生の教育費です。私は、一番関係がある教育費の事があまり分かっていなかったのを見て、考えてみることにしました。

小中学生の生徒一人当たりの年間教育費負担額は、小学生で約八十七万六千円、中学生で約百一十五万五千円(平成二十八年年度)使われていることが分かりました。私は、前に小学校で税金がない世界はどんな風になるのかという動画を見ました。すると、

火災が起きて消防車が出動するのにお金がかかり、道を通るだけでもお金がかかったり、公園などの公共の場などは、子供が遊べないような所になったり、とても大変になっていました。私たちが使っている教科書は、高いお金がかかり、払うのに一苦労している家もありました。

また、今、少子高齢化が進んでいます。ニュースを見たりすると、「少子高齢化は問題の一つだ」と言われたりするのを聞くと、私には問題の「一つだ」と言われたりします。私は何が問題なのかあまり分かっていませんでしたが、去年、初めて勉強したときや、その意味が分かりました。それは、一人の方を支える手がだんだんと減ってきているということでした。

今現在は、一・八人くらいです。二十五年前と今を比べてみると、なんと二分の一ぐらいい減ったということが分かりました。

さらに、今より二十五年たつと、もっと少なくなつて一・六人とかの少ないです。老後の二千万円問題などが起こったように安定した生活や健康な毎日を送るには、それだけ大きな費用を必要とします。その財源の中心となるのが税金です。税金はたくさんの方々が払ってくださっています。そのお陰で今の生活が成り立っています。と言っても過言ではありません。だから、これからも税金の事を考えて行動すべきだと思いました。

私はこの税の学習を通して、私の身のまわりには、たくさんの方々の税金を使っているところがたくさんあります。なので、自分が大人になったら、きちんと納税をし、みんなの役に立つ大人になりたいです。なので、まずは、今、私たちを支えてくれている人に感謝の気持ちを伝えたいです。

令和2年度 中学生の「税についての作文」入選作品

税を考える週間実行委員会が募集された中学生の「税についての作文」で受賞した作品を紹介します。